

犬の「医療費」は、猫を1万円以上上回る結果に。  
入手経路は「ペットショップ・専門店」からが犬で6割弱、猫では1割半ば  
- ペットに関する調査 -

<https://insight.rakuten.co.jp/report/20220131>

楽天インサイト株式会社は、「ペットに関する調査」をインターネットで実施しました。今回の調査は、2022年1月5日（水）から1月6日（木）の2日間、楽天インサイトに登録しているモニター（約220万人）の中から、全国の20～69歳の男女1,000人を対象に行いました。ペットの飼育状況やペット保険の加入状況の前年比較に加え、犬・猫を飼育するうえでどのような商品にお金を使っているか、またそれをどこで購入しているかなどを調査しました。

---

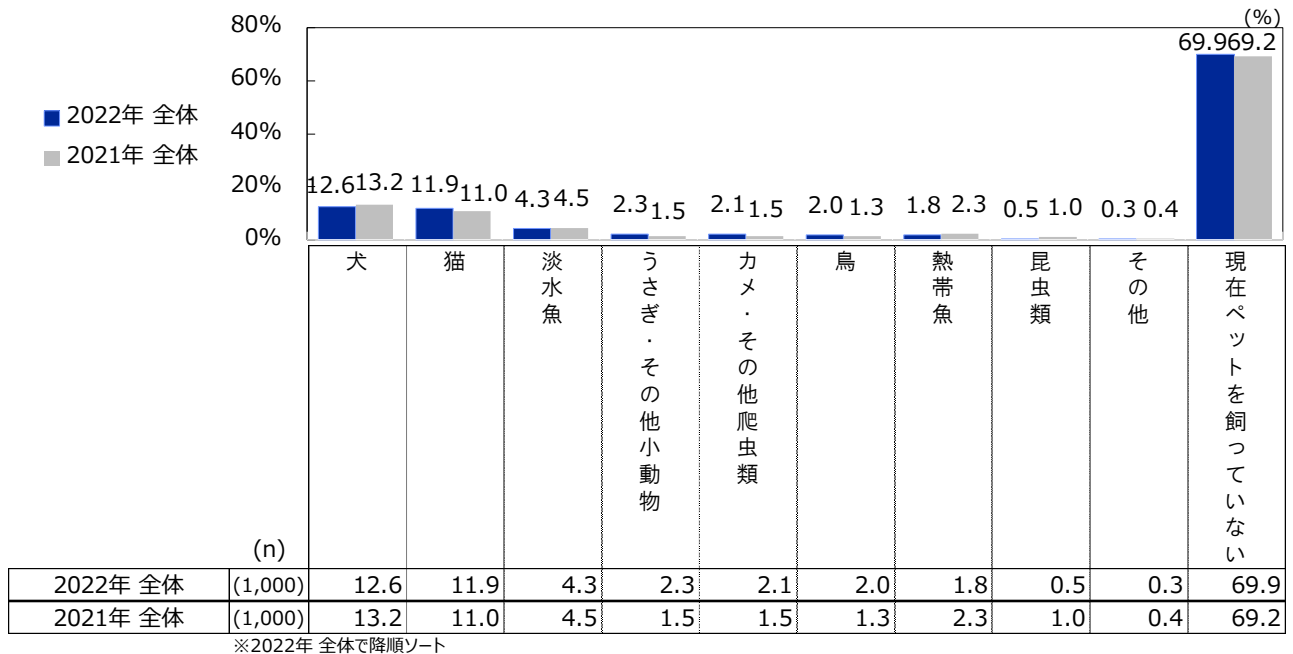
■□ 調査結果 □■

---

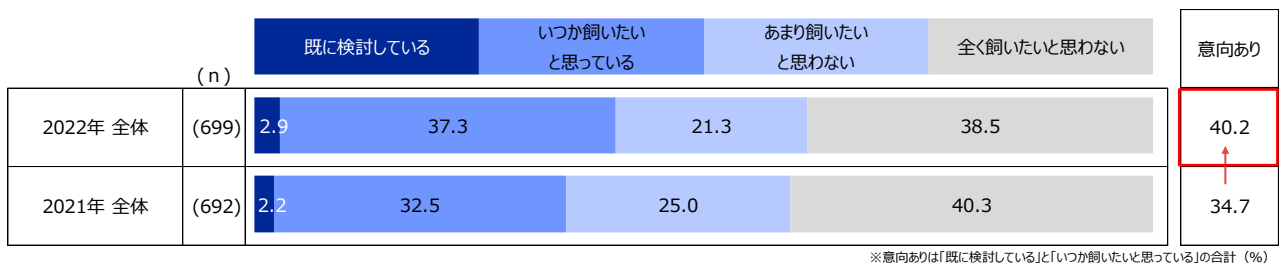
**■昨年と同様、飼っているペットは「犬」（12.6%）、「猫」（11.9%）、「淡水魚」（4.3%）がトップ3。「飼っていない」と回答した人のうち4割に飼育意向があり、昨年より上昇**

現在のペット飼育状況を聞いたところ、昨年と同様に「犬」（12.6%）、「猫」（11.9%）、「淡水魚」（4.3%）がトップ3となり、大きな変動はなかった。また、「現在ペットを飼っていない」と答えた人に今後飼ってみたいと思うかどうかを聞いたところ、「意向あり」（「既に検討している」と「いつか飼いたいと思っている」の合計値）は40.2%で、昨年（34.7%）と比較し5.5ポイント上昇した。

◇ペットの飼育状況（n=1,000：全員回答）複数回答（n=1,000：全員回答）複数回答 単位：%



◇今後の飼育意向 (n=699：非飼育者) 単一回答 単位：%



■ペットに関する寄付・ボランティアで実施したことがあるのは「団体への寄付」が約1割。「ボランティア」や「ペット向けの医療発展のための寄付」は今後の実施意向が高い

ペットに関連する団体への寄付やボランティアなどの意向を聞いたところ、「実施したことがある」と答えた人では「ペットに関連する団体への寄付」(11.7%)がトップで、「ペットに関連するボランティア」、「ペットに関連するクラウドファンディング」、「ペット向けの医療発展のための寄付」はいずれも1割未満となった。

「今までにやったことはないが、ぜひ実施してみたい」と答えた人では「ボランティア」(28.8%)がトップ、次いで「ペット向けの医療発展のための寄付」(27.3%)が続き、ペットに関する寄付・ボランティアに関する今後の進展が期待される。

◇ペットに関連する寄付やボランティアに関する意向 (n=1,000：全員) 単一回答 単位：%

	(n)	実施したことがある	今までにやったことはないが、ぜひ実施してみたい	興味はない
ペットに関連する団体への寄付 (動物愛護団体/環境保護団体など)	(1,000)	11.7	24.3	64.0
ペットに関連するボランティア (里親探し・譲渡 /ミルクボランティア/一時預かりなど)	(1,000)	3.1	28.8	68.1
ペットに関連するクラウドファンディング (新製品開発/難病支援など)	(1,000)	2.0	23.1	74.9
ペット向けの医療発展のための寄付 (大学/製薬会社など)	(1,000)	2.4	27.3	70.3

(%)

**■犬を飼っている人の6割弱が「ペットショップ・専門店」から迎え入れたと回答。猫では「ペットショップ・専門店」から迎え入れた人は1割半ばで、経路が多岐にわたる**

犬または猫を飼っている人にペットがどのように家に来たかを聞いたところ、犬では「ペットショップ・専門店」(57.9%)がトップ、次いで「ブリーダー」(23.0%)、「家族・知人より譲り受けた」(12.7%)が続いた。「ペットショップ・専門店」は、昨年(51.5%)と比較すると6.4ポイント上昇した。一方、猫は「拾った・野良(野生)を飼いならした」(28.6%)が最も多く、次いで「家族・知人より譲り受けた」(27.7%)、「民間の保護施設・NPO団体」(16.8%)の順となった。とくに「民間の保護施設・NPO団体」は、昨年(12.7%)と比較し4.1ポイント上昇しており、「ペットショップ・専門店」(14.3%)を上回る結果となった。現状の犬と猫の入手経路をみると、犬では「ペットショップ・専門店」が主流だが、猫では経路が多岐にわたることが示された。

◇犬または猫の入手経路 (犬または猫を飼っている人) 単一回答 単位：%

**【犬】**

	(n)	ペットショップ・専門店	ブリーダー	保健所・動物愛護センター	民間の保護施設・NPO団体	家族・知人より譲り受けた	拾った・野良(野生)を飼いならした	その他	分からない・覚えていない
2022年 犬全体	(126)	57.9	23.0	3.2	12.7				
2021年 犬全体	(132)	51.5	25.0	3.0	3.0	12.1	2.3	3.0	

※ 2%未満のグラフスコアは非表示 (%)

**【猫】**

	(n)	ペットショップ・専門店	ブリーダー	保健所・動物愛護センター	民間の保護施設・NPO団体	家族・知人より譲り受けた	拾った・野良(野生)を飼いならした	その他	分からない・覚えていない
2022年 猫全体	(119)	14.3	5.0	4.2	16.8	27.7	28.6	2.5	
2021年 猫全体	(110)	19.1	2.7	5.5	12.7	23.6	33.6		

※ 2%未満のグラフスコアは非表示 (%)

**■直近1年以内に購入した商品ジャンルは、犬・猫ともに「ペットフード・おやつ」、「トイレ用品」、「お**

### 「もちゃ」がトップ3

犬または猫を飼っている人に、直近1年間で購入した商品ジャンル（注1）を聞いたところ、犬では「ペットフード・おやつ」（89.7%）がトップ、次いで「トイレ用品」（65.9%）、「おもちゃ」（52.4%）が続いた。猫でも同様に「ペットフード・おやつ」（96.6%）がトップ、次いで「トイレ用品」（84.0%）、「おもちゃ」（47.9%）が続いた。以前より購入頻度が増えたものを聞いたところ、犬では「ペットフード・おやつ」（45.7%）、「トイレ用品」（15.2%）に続き、「ウェア」と「室内用品」がそれぞれ7.6%で3位となった。猫については直近1年間で購入したもののトップ3と同様となった。

（注1）回答者に提示した各項目の詳細は下記の通り。以下の設問でも同様。

トイレ用品： トイレシート、砂、消臭グッズなど

お手入れ・トリミング用品： 歯ブラシ、トリミングブラシ、シャンプーなど

室内用品： マット、ケージなど

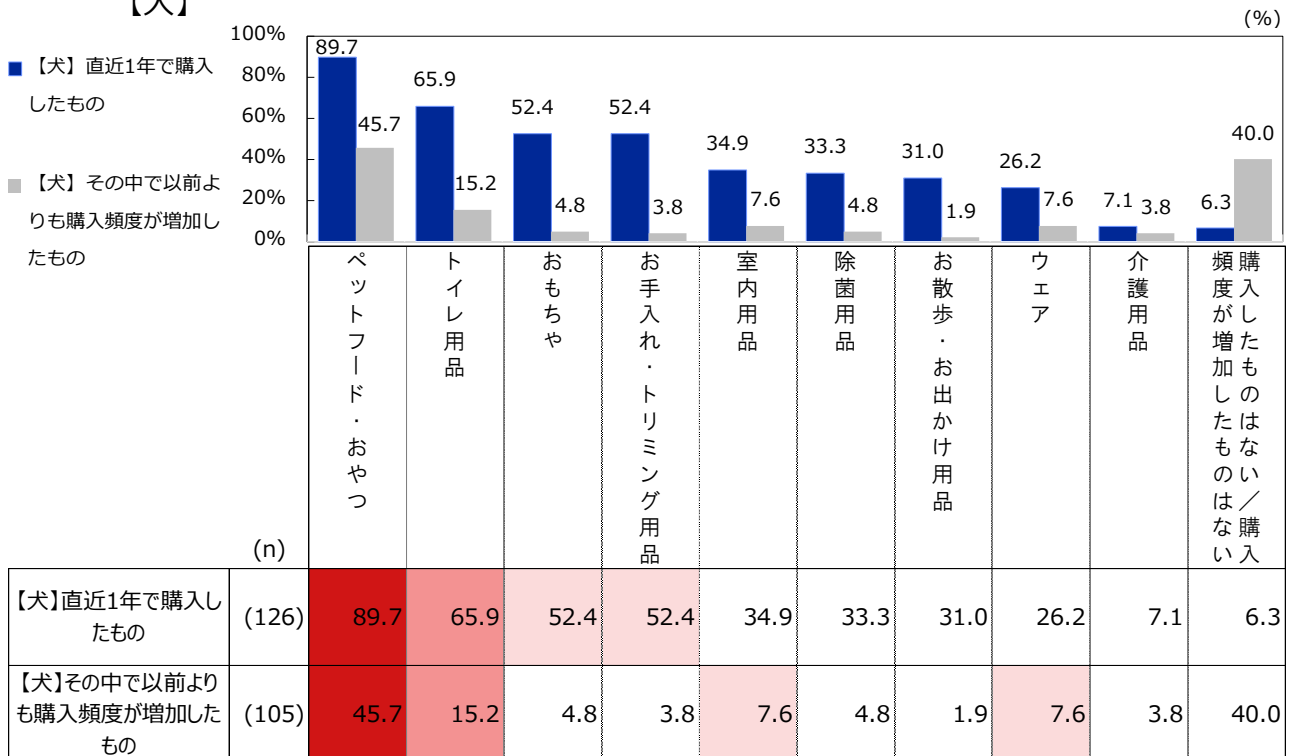
除菌用品： 除菌スプレー、除菌シートなど

介護用品： 介護用おむつ、介護用ハーネス、介護用マットなど

お散歩・お出かけ用品： リード、携帯用給水ボトル、トイレシャワーなど

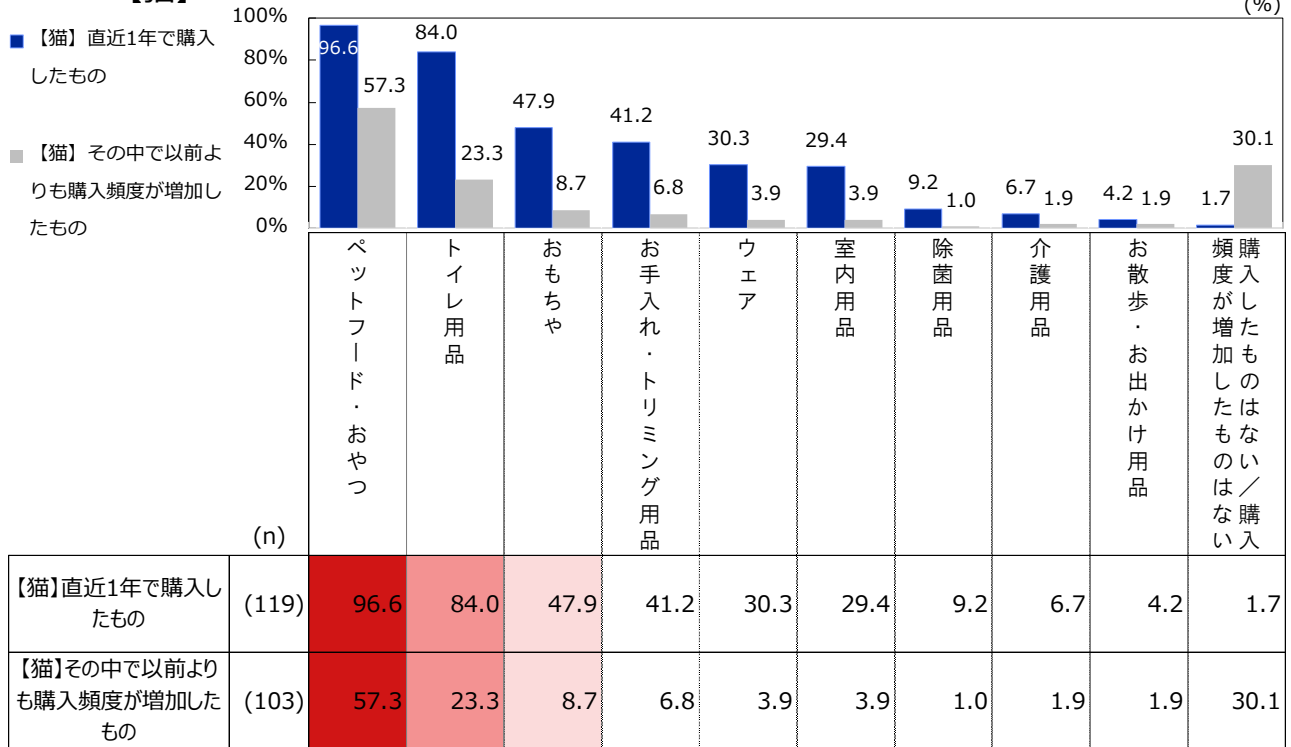
### ◇直近1年で購入した商品ジャンル、またその中で以前よりも購入頻度が増加したもの（犬または猫を飼っている人）複数回答 単位：%

#### 【犬】



※【犬】直近1年で購入したもので降順ソート項目の中で ■ = 1位、■ = 2位、■ = 3位

## 【猫】



## ■ペットにかかる平均費用は年額で犬 109,398 円、猫 87,941 円。中でも「医療費」は、犬が猫を1万円以上上回る結果に

犬または猫を飼っている人に、1年間でかかる費用（注2）を項目別に聞いたところ、ペット1匹あたりにかかる平均費用は、年額で犬が109,398円、猫が87,941円となった。

それぞれ平均費用の内訳をみると、犬では「ペットフード・おやつ」（28,894円）がトップ、次いで「医療費」（28,848円）、「トイレ用品」（12,083円）が続いた。猫でも同様に「ペットフード・おやつ」（26,243円）がトップ、次いで「医療費」（18,722円）、「トイレ用品」（13,520円）となった。犬と猫を比較すると、「ペットフード・おやつ」や「トイレ用品」の平均費用にはほぼ差がなかったが、犬の「医療費」は猫よりも1万円以上高い結果となった。

（注2）同じ種類のペットが複数いる場合は一番新しく飼い始めたペット1匹あたりについてかかる年額の費用。

◇ペットにかかる費用（犬または猫を飼っている人）単一回答 単位：%

【犬】 n=126	1,000円以内 3,000円以内 5,000円以内 1万円以内 3万円以内 5万円以内 7万円以内 9万円以内 それ以上 わからない									加重平均 (円)	
	1,000円以内	3,000円以内	5,000円以内	1万円以内	3万円以内	5万円以内	7万円以内	9万円以内	それ以上		わからない
【犬】ペットフード・おやつ	3.2	5.6	4.8	11.1	28.6	17.5	3.2	3.2	5.6	17.5	28,894
【犬】トイレ用品	5.6	10.3	13.5	21.4	19.0	5.6				23.8	12,083
【犬】おもちゃ	24.6	21.4	16.7	11.1	4.8					21.4	3,823
【犬】お手入れ・ト リミング用品	14.3	16.7	15.1	18.3	6.3	4.0	2.4			23.0	8,655
【犬】ウェア	22.2	15.9	11.1	9.5	7.9					31.7	5,814
【犬】室内用品	19.8	10.3	9.5	17.5	9.5					33.3	5,851
【犬】除菌用品	22.2	13.5	12.7	12.7	3.2					34.9	4,293
【犬】介護用品	22.2	3.2	4.0	7.9	2.4					57.9	7,113
【犬】お散歩・お出 かけ用品	21.4	16.7	16.7	8.7	3.2					32.5	4,024
【犬】医療費	4.8	8.7	10.3	20.6	15.1	7.1	4.8			27.0	28,848
	合計										109,398

※加重平均は「わからない」を除いて算出  
 ※2%未満のグラフスコアは非表示(%)

【猫】 n=119	1,000円以内	3,000円以内	5,000円以内	1万円以内	3万円以内	5万円以内	7万円以内	9万円以内	それ以上	わからない	加重平均 (円)
【猫】ペットフード・おやつ	4.2	11.8	4.2	13.4	21.8	16.8	5.9	2.5	4.2	15.1	26,243
【猫】トイレ用品	5.0	10.9	14.3	21.8	21.8	8.4				16.0	13,520
【猫】おもちゃ	28.6	25.2	14.3	12.6						16.0	4,575
【猫】お手入れ・トリミング用品	21.8	24.4	11.8	10.9	3.4					26.9	4,190
【猫】ウェア	38.7	8.4	4.2	2.5						42.9	5,081
【猫】室内用品	22.7	14.3	10.1	10.1	12.6					27.7	8,203
【猫】除菌用品	29.4	26.1	10.9	6.7						23.5	4,082
【猫】介護用品	36.1	6.7								52.9	1,661
【猫】お散歩・お出かけ用品	37.0	8.4	6.7	4.2						43.7	1,664
【猫】医療費	6.7	3.4	6.7	19.3	18.5	9.2	2.5			31.9	18,722
	合計										<b>87,941</b>

※加重平均は「わからない」を除いて算出  
 ※2%未満のグラフスコアは非表示(%)

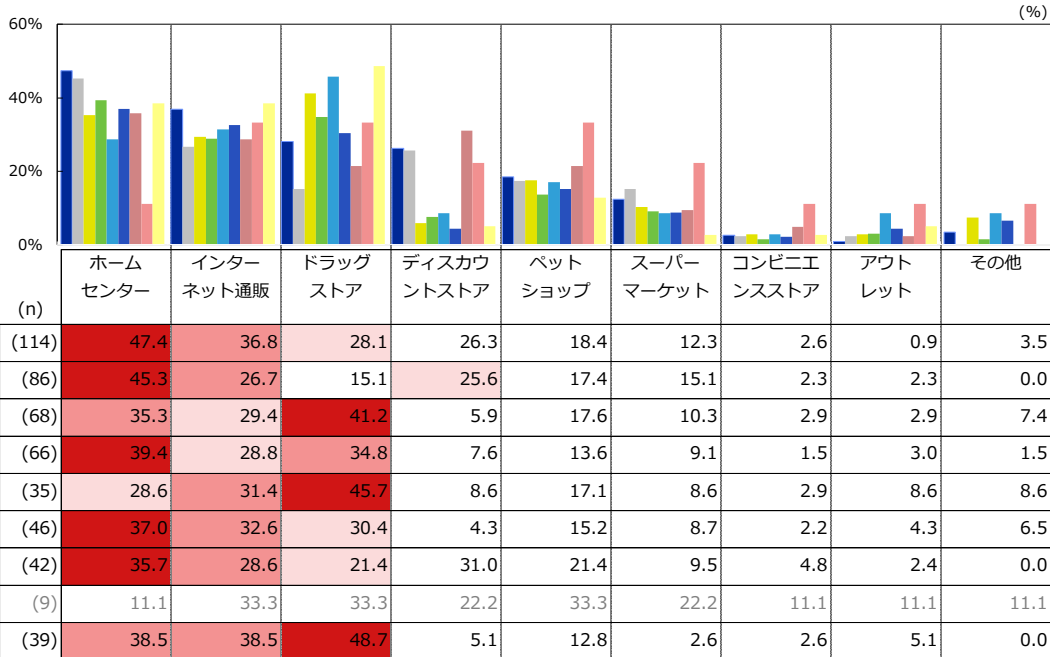
**■購入場所は、犬・猫ともに、多くの商品カテゴリで「ホームセンター」、「インターネット通販」が上位**

犬または猫を飼っている人に、直近1年間で購入した商品について購入場所を聞いたところ、多くの商品カテゴリで「ホームセンター」、「インターネット通販」が上位となった。犬では、「ペットフード・おやつ」、「トイレ用品」、「お手入れ・トリミング用品」、「室内用品」、「除菌用品」の5項目で「ホームセンター」が1位になった。また、猫では「ペットフード・おやつ」、「トイレ用品」、「おもちゃ」、「お手入れ・トリミング用品」、「除菌用品」の5項目で1位だった。

◇直近1年で購入した商品ジャンル別の購入場所（犬または猫を飼っている人）複数回答 単位：%

【犬】

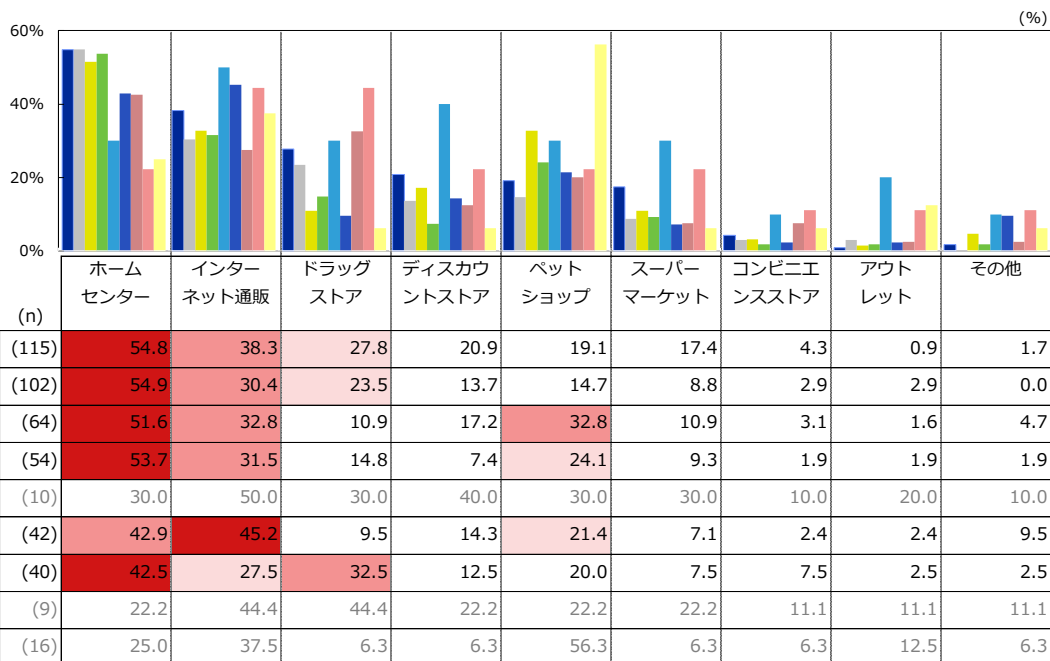
- ペットフード・おやつ
- トイレ用品
- おもちゃ
- お手入れ・トリミング用品
- ウェア
- 室内用品
- 除菌用品
- 介護用品
- お散歩・お出かけ用品



※「ペットフード・おやつ」で降順ソート。項目の中で■ = 1位、■ = 2位、■ = 3位

【猫】

- ペットフード・おやつ
- トイレ用品
- おもちゃ
- お手入れ・トリミング用品
- ウェア
- 室内用品
- 除菌用品
- 介護用品
- お散歩・お出かけ用品



※「ペットフード・おやつ」で降順ソート。項目の中で■ = 1位、■ = 2位、■ = 3位

■ ペット保険に加入しているのは、犬を飼っている人で約 4 割、猫を飼っている人で 1 割半ば。昨年と比較すると犬を飼っている人のペット保険加入率は微増

犬または猫を飼っている人にペット保険の加入状況について聞いたところ、「現在加入している」と答えたのは犬を飼っている人で 43.7%、猫を飼っている人で 16.0% となり、加入率に大きな差がみられた。加入率を昨年と比較すると、犬では 2.0 ポイント上昇し、猫では 4.9 ポイント低下した。



◇ペット保険の加入状況 (n=126：犬または猫を飼っている人) 単一回答 単位：%

【犬】		現在加入している	現在加入していないが、過去に加入したことがある	加入したことはないが、検討している	加入したことがなく、検討もしていない	加入経験あり
(n)						
2022年 全体	(126)	43.7	11.9	13.5	31.0	55.6
2021年 全体	(132)	41.7	8.3	19.7	30.3	50.0

※「加入経験あり」は「現在加入している」と「現在加入していないが、過去に加入したことがある」の合計 (%)

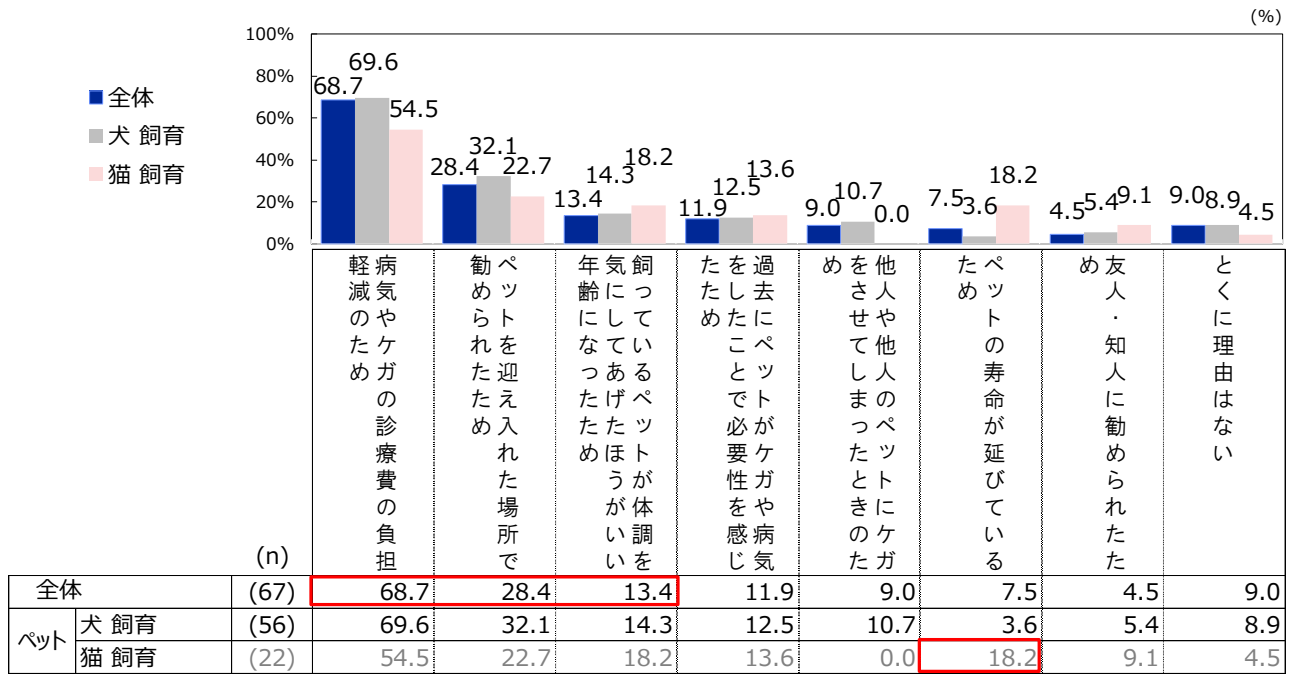
【猫】		現在加入している	現在加入していないが、過去に加入したことがある	加入したことはないが、検討している	加入したことがなく、検討もしていない	加入経験あり
(n)						
2022年 全体	(119)	16.0	8.4	24.4	51.3	24.4
2021年 全体	(110)	20.9	6.4	23.6	49.1	27.3

※「加入経験あり」は「現在加入している」と「現在加入していないが、過去に加入したことがある」の合計 (%)

■ペット保険の加入理由は、「病気やケガの診療費負担を軽減するため」、「ペットを迎え入れた場所で勧められたため」、「飼っているペットが体調を気にしてあげたほうがいい年齢になったため」がトップ3

ペット保険に加入している人に、その理由について聞いたところ、「病気やケガの診療費負担を軽減するため」(68.7%)がトップ、次いで「ペットを迎え入れた場所で勧められたため」(28.4%)、「飼っているペットが体調を気にしてあげたほうがいい年齢になったため」(13.4%)が続いた。猫では、サンプル数が少ないため参考値ではあるが、「ペットの寿命が延びているため」が18.2%となっており、猫の寿命の延びも保険に加入する理由の一つとなっている可能性がある。

◇ペット保険の加入理由 (n=67：ペット保険加入者) 複数回答 単位：%



※全体で降順ソート

【調査概要】

調査エリア : 全国

調査対象者 : 20歳～69歳 男女

回収サンプルサイズ : 1,000 サンプルサイズ

調査期間 : 2022年1月5日(水)から1月6日(木)

調査実施機関 : 楽天インサイト株式会社

(注) 本レポートでは小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とならない場合があります。